

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL：099-213-1011 FAX：099-213-1012

衆院選で、自民公認候補を激励 鹿児島県医療関連団体が総決起大会

鹿児島県の医療関連5団体による衆院選総決起大会が10月26日午後7時から鹿児島県医師会館4階大ホールであった。コロナ禍のため、会場は100人程度に制限し、250人は各医療関連団体や郡市医師連盟の会場からWEB中継で参加した。10月31日の投票日を前に、自民党の公認候補を支持し、激励するのが目的で、鹿児島1区のみやじ拓馬候補（41）、2区の金子万寿夫候補（74）、3区の小里やすひろ候補（63）、比例区のやすおか宏武候補（48）が駆けつけ決意表明した。4区の森山ひろし候補は鹿屋市で菅前首相参加による決起大会があるため欠席、自民党鹿児島県連幹事長代理で県議会議員の大久保博文氏が代理で出席した。

決起大会では、まず鹿児島県医師連盟の池田琢哉委員長が挨拶。「今の政治は自民党、公明党が与党として、引っ張ってきております。この体制を堅持しなければなりません。自民党公認候補の5人とも、鹿児島にとってなくてはならない政治家です。皆様のお力添えで国会へ送り出そうではありませんか。あと5日間、絶大なる支持をお願いします」と候補者を激励した。

続いて自民党鹿児島県連選挙対策委員長の尾辻秀久参院議員が登壇。「私を含め、5人の候補者が皆様のお心を心として、国家国民のために何をやるべきかを考え、頑張らねばと思います。今日は御礼の挨拶にきました」と述べた。

このあと、鹿児島県歯科医師連盟の堀川清一会長、鹿児島県薬剤師連盟の上野泰弘会長、鹿児島県看護連盟の吉崎和子会長が次々に挨拶。「自民党の候補を国会に送り出すため、勝利目指して戦い抜きましょう」と激を飛ばした。

引き続き候補者の決意表明があり、1区のみやじ候補は「この7年間、政治家としてお支えいただき感謝しております。これまで、難聴対策や成育基本法などと取り組んで参りました。将来世代の政治家として、頑張ります。そして1区の奪還に死力を尽くします」と述べた。続いて、2区の金子候補が「コロナ後は個人事業者や、小規模事業者を支援し、医療提供体制をしっかりと整え、再生の道を歩まねばなりません。この国は、これから中央集権国家ではなく、分散型を目指すべきであります」と強調した。

3区の小里候補は「これまでの選挙で、今回は最大の試練であります。最後まで粘り強く闘い抜きます。これからは、地方創生の時代であります。地方の潜在能力を生かす地域づくりをやります」と述べた。比例区のやすおか候補は「コロナ禍のなか、最前線で頑張っている医療関係の皆様に関心から敬意を表し、感謝します。比例区の候補として、宮路さんを始め、各選挙区の自民党候補者を全力で支援します」と述べた。

4区の森山候補の代理であいさつした大久保県議は「森山候補は、コロナ対策に国民皆保険が大いに寄与したと強調しています。正直、実力、思いやりの三拍子そろった政治家であります。絶大なる支援をお願いします」と述べた。

このあと日本栄養士連盟鹿児島県支部の川西孝子支部長、鹿児島県看護連盟鹿児島第2支部の深見小百合支部長が候補者に花束を贈った。

決起大会の最後は、鹿児島県薬剤師連盟の谷口欣平幹事長が「力を結集して、全員の当選を目指してがんばろう」と激を飛ばし、参加者全員で「がんばろう」を三唱した。

衆院選の投票日は10月31日。即日開票される。鹿児島県医師連盟は県内4選挙区と比例区で、自民党公認候補を推薦している。

（文責・事務局）

各選挙区の推薦候補は次の通り。

- 【鹿児島1区】みやじ 拓馬
- 【鹿児島2区】金子 万寿夫
- 【鹿児島3区】小里 やすひろ
- 【鹿児島4区】森山 ひろし
- 【比例九州】やすおか 宏武

期日前投票促進のお願い！

10月30日（土）まで、指定の期日前投票所において
期日前投票ができます！

選挙ハガキや身分証を忘れても大丈夫です！

とても簡単に投票できます！

是非、期日前投票に行きましょう！